

# 第29回 TSUNAGU食堂 (2024年9月) 報告



開催日、場所	2024年9月22日 (日) 11時～ 横浜市金沢区釜利谷東ハイツ第2集会所
内 容	防災クイズ、各家族の発表。お弁当、シャインマスカット、巨砲、お米、お菓子など無料配布
参加人数	87名
配 布 品	シャインマスカット、巨砲、野菜や砂糖、缶詰、レベルアップ、シルバニアファミリー

## 写真



## 支援企業への メッセージ

防災月間である9月のTSUNAGU食堂は87名の参加申し込みを頂き笑顔でスタート！今回も新しく高校生のボランティアスタッフが加わってくれ、高校生2名のサポートを受けて既存スタッフもいつもの動きに拍車がかかりテキパキと準備が完了。相乗効果であるですね！有難い限りです。この高校生のボランティアスタッフは姉妹なんですが、二人とも意識が高く、フードロス問題や廃棄の問題にも危機感を持っており、今回は自分たちが着なくなった服や靴をリユースという形でTSUNAGU食堂に持ち込んでくれました。自己紹介&リユースの紹介からスタート。参加者からは大きな拍手が起きていました。まずは防災月間であるということで「防災クイズ」からスタート。9月1日は防災の日になったのは何故？の問いかけに小学生の男の子が「関東大震災があった日」と的確に答えてくれたのには驚きました。1923年9月1日に関東大震災が起り甚大な被害が出たんだ、皆の住む地域にもいつ災害が起きるか分からないので、自分の命は自分で守れるようにしましょうね！と遊びながら学べるクイズを出題。大雨編、地震編、火災編、避難・備蓄編、生活・事故編からそれぞれ5問程度出題したので長くなり飽きたかなあと思い、途中途中で「大丈夫？飽きた？」と質問しても子どもたちは「全然大丈夫！もっとやっ！」とキラキラした瞳で訴えるので、じっくり防災について遊びながら学びました。この中で備蓄に関する問題もあったので、備蓄食について紹介。なんと！25年も保存可能な備蓄食があるので紹介したところ、親御さんも子どもたちもメチャ驚いてました！この備蓄食、普通に食べても美味しいのでみんなに試食してもらいましたが大好評！実はこれTSUNAGU食堂を支援してくださっているセイエンタープライズ社さんが製造から販売までしているものなんです。25年保存可能って凄いですね！一度購入すれば、しばらく入れ替える必要のない手間もコストも削減できる優れものです。今回のクイズをキッカケに防災について少しでも気にしてくれらと思います。続いては初の試みとなる参加家族対抗、夏に頑張ったことの発表！いつもはこちらからの一方通行なので今回は参加者同士が繋がるよう、自己紹介&一家族、1エピソードを発表してもらいました。照れて中々話せない子がいたり、一生懸命説明してくれる子がいたり、まだ未就学児なのに大きな声で夏に頑張ったエピソードを発表してくれる子がいたり様々でしたが、皆真剣に聞いてくれていました。「頑張って蝉を15匹採った！」という夏らしいエピソードに皆笑顔に！いつもとは違った横の交流ができ、新鮮な感じでした。TSUNAGU食堂は地域や参加者、支援企業様が繋がる食堂を目指しているので今後も一方通行にならないような企画を取り入れて行きます。みんな頑張って発表してくれたので景品も準備しました。大人へはプレミアム景品として地元の釜利谷米穀店様からシャインマスカットと巨砲の差し入れが！景品の選択権はくじ引きで決めましたが、予想通りシャインマスカットと巨砲から選ばれていきました。野菜や砂糖、缶詰なども準備していたので全員に行き渡りました。子どもたちにはシルバニアファミリーをプレゼント。こちらも予想通りみんな大興奮！男の子も好きなんですなー！大いに盛り上がった夏に頑張った発表会となりました。今回も地元楓井当様より子どもに大人気の唐揚げ弁当を配布。カレールーやフードバンクかながわさんからの支援物資やジュース、お菓子やお米、レベルアッププロフェッショナル（子どもの成長支援飲料）も配布しました。最後に高校生姉妹のボランティアスタッフが持ち込んでくれたリユース用の洋服や靴を配布。みなさん大変喜んで好きなものを持ち帰ってくれました。他のスタッフもこれには驚き、うちで不要になったものを持ってきますと新しいサイクルが生まれそうです。初参加の高校生スタッフに感想を聞いてみたところ、すごく楽しかったです！今後も参加させてください！なんと嬉しい言葉ももらえました。子ども食堂の不思議なパワーを改めて実感。ご支援頂いている企業様、スタッフ、ご参加された方、ありがとうございました。次回は10月27日（日）。ライオンおくらからプロジェクトを開催！ライオンの社員さんが来て盛り上げてくれるよー！子ども集まれー！